

『演習 保育内容 健康—基礎的事項の理解と指導法—』モデルカリキュラム対応表

A. モデルカリキュラム「幼児と健康」における到達目標と本書の対応項目

＜全体目標＞

当該科目では、領域「健康」の指導に関する、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達などの専門的事項についての知識を身につける。

(1) 幼児の健康	
＜一般目標＞	
幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 乳幼児期の心と体、運動発達などの健康課題を説明できる。	第2・3・9章
2) 健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明できる。	第1章
(2) 体の諸機能の発達と生活習慣の形成	
＜一般目標＞	
幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 乳幼児の体の発達的特徴を説明できる。	第2章
2) 乳幼児の基本的な生活習慣の形成とその意義を説明できる。	第1・5・7章
(3) 安全な生活と病気の予防	
＜一般目標＞	
安全な生活と怪我や病気の予防を理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 幼児の安全教育・健康管理に関する基本的な考え方を理解している。	第4章
2) 幼児期の怪我の特徴や病気の予防について説明できる。	第4章
3) 危険に関しリスクとハザードの違いと安全管理を理解し	第4章
(4) 幼児期の運動発達と身体活動	
＜一般目標＞	
幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。	
＜到達目標＞	本書の対応章
1) 乳幼児期の運動発達の特徴を説明できる。	第3章
2) 幼児期において多様な動きを獲得することの意義を理解している。	第3・6章
3) 日常生活における幼児の動きの経験やその配慮など身体活動の在り方を説明できる。	第6・9章

モデルカリキュラム「保育内容「健康」の指導法」における到達目標と本書の対応項目

<全体目標>

領域「健康」は、「健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う」ことを目指すものである。幼稚園教育において育みたい資質能力について理解し、幼稚園教育要領に示された領域「健康」のねらい及び内容について背景にある専門領域と関連させて理解を深め、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。

(1) 領域「健康」のねらい及び内容	
<一般目標>	
幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「健康」のねらい及び内容を理	
<到達目標>	本書の対応章
1) 幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、領域「健康」のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。	第8章
2) 領域「健康」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。	第8章
3) 幼稚園教育における評価の考え方を理解している。	第8・10章
4) 領域「健康」において幼児が経験し身に付けていく内容の関連性及び小学校の教科等とのつながりを理解している。	第9章
(2) 領域「健康」の指導方法及び保育の構想	
<一般目標>	
幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「健康」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身に付ける。	
<到達目標>	本書の対応章
1) 幼児の心情、認識、思考及び動き等を視野に入れた保育構想の重要性を理解している。	第1・3・5・6・8章
2) 領域「健康」の特性及び幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。	第10章
3) 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。	第5・6・7・10章
4) 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けてい	第8・10章
5) 領域「健康」の特性に応じた現代的課題や保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。	第1・9章

(株)建帛社